

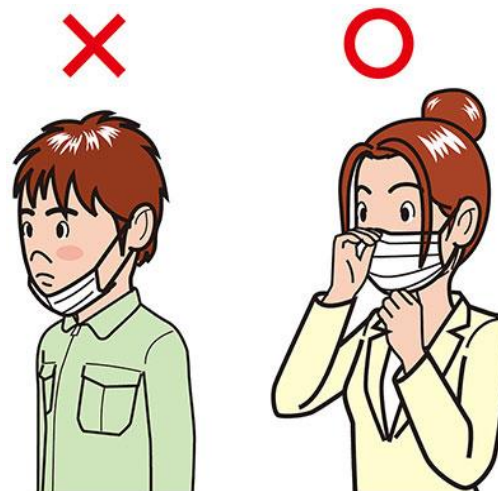
1. 2月全国行事
 - 1) 省エネルギー月間 2月1日～2月28日
2. 安全・衛生・防災の心得 : 冬季1月の安全・衛生・防災心得
3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)
4. 事故・災害事例から : フォークリフトの酒気帯び運転で事故
5. ヒヤリハット事例 :

2. 安全・衛生・防災の心得 : 冬季1月の安全・衛生・防災心得
～要注意 温暖な地方でも急な寒波到来～

今年の冬、1月・2月はやや気温は高いと予測されていますが、温暖な地方でも、急な寒波が襲うなどによって思わぬトラブルに見舞われることがあります。

以下の安全・衛生・防災の心得をヒントに注意を払い、対策等を実施しましょう。

- ①降雪や着雪、凍結等による設備や機械の故障や不調、損傷や破損等に対する措置を。
- ②凍結や積雪場所のスリップ対策や転倒防止対策等は早めに実施。高所足場は特に注意。
- ③心身ともに縮み込んで不安全行動を起こしやすい。「指差し呼称」や合図などはしっかりと。
- ④ポケットに手を入れたり猫背の姿勢は危険。姿勢を正しく、さっそうと行動を。
- ⑤暖房器具等から火災予防対策と、一酸化炭素ガスに注意して換気対策を。
- ⑥車の運転は時間にゆとりを持って出発。
- ⑦道路の積雪や凍結に注意し、スピードを控え、車間距離を十分に。
- ⑧閉め切った室内での作業や有害物取扱い作業では適切に換気や排気を。
- ⑨寒冷の環境で行う振動作業はからだの保温を心掛け、防振手袋等の着用を忘れずに。
- ⑩風邪の予防を心掛け、また、高血圧や心臓に異常のある人は自己管理をしっかりと。
- ⑪新型インフルエンザの予防対策を万全に。
- ⑫栄養・休養・運動を心掛け、心身の健康とリフレッシュを。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

● 関西工場

・作業環境を向上の目的で、シートシャッターが新設された。



● 西日本技術センター(中京)

・攪拌機回転部カバーを樹脂製のものから更に強度のある金属製に変更していた。



4. 事故・災害事例から： 他社災害事例 フォークリフトの酒気帯び運転で事故
～危険回避が出来ず小学生にケガを～

(1) 災害のあらまし

・事業場のフォークリフトの運転手A(男性・30歳)が、朝、入社後直ちに上司から、公道で積み荷を待っているトラックに所定の荷を運ぶように指示され、急いでフォークリフトに荷を積んで走行中、工場の角から出てきた通学中の小学生に接触し、全治2週間のケガを負わせました。

(2) 災害の主な原因

- ① Aは前夜夜中まで仲間と酒を飲んでおり、警察の検査で酒酔い状態であったこと。
- ② Aは酒酔いの状態でスピードを出してフォークリフトの運転をしたため、とっさの安全な危険回避行動がとれなかったこと。
- ③ 管理・監督者がAの酒酔いの状態に関心を払わず、直ちに作業を指示したこと。
- ④ Aは酒酔いの状態を自覚せず、慎重に安全運転を行わなかったこと、など。

(3) 同種災害の防止対策 例

- ① 酒酔い、酒気帯び運転に関する安全衛生教育を全従業員に定期的実施する。
- ② 管理・監督者は、作業前ミーティングなどの際は、部下の健康状態をチェックし、指導する。また、作業員間でもお互いに健康状態を気にかけるよう習慣づける。
- ③ 近隣住民や警察と相談して、表示や標識、カーブミラーなどを設置する。
- ④ フォークリフト運転業務従事者教育の再教育を実施する、など。

(4) 環境安全部から

・酒気帯び運転はとても危険な行為です。翌日、フォークリフトを運転する可能性がある場合は酒量を控える等自己管理が必要です。



5. ヒヤリハット事例

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	フォークリフトで完成品を運搬中
どこで	倉庫内通路の南中央シャッター一部で
何をしている時に	固定潤滑の完成品を倉庫内、奥の完成品置き場へ運搬して倉庫中央シャッター一部に近づいた時に
どうなった	中央シャッター外部から小型ライン処理作業者が運搬用台車をバックして引っ張りながら入ってきた為に、作業者に当たりそうになりヒヤリとした